

## ◀ 会社紹介 ▶

# 日本油化工業株式会社

技術研究所 分析センター課長 大塚 淳史

## 1. 沿革

日本油化工業株式会社は1960年7月（昭和35年）に、当時、高価な輸入製品に頼っていた燃料油添加剤や船舶用洗剤を日本郵船(株)グループ内で生産することを目的に設立されました。製品開発に際しては、日本郵船(株)の油炭効率研究所の知見が生かされました。

その後、防カビ剤や、燃焼灰改質剤などの燃料油添加剤を開発して来ました。1975年（昭和50年）には、自動車用品事業を開始し、以来、洗車機用の洗剤や、ワックスを製造販売しています。2001年（平成13年）には、(株)NYK輸送技術研究所より、分析部門（旧油炭効率研究所）を譲り受けて横浜工場内に分析センターを設立しました。



横浜工場

## 2. 組織

本社は横浜市中区の横浜郵船ビルの3階にあり、横浜市戸塚区に横浜工場、神戸市中央区に神戸営業所があります。

以下に会員の皆様と関係が深い部門について説明いたします。



製品自動倉庫

### 2.1 営業部：

営業部門は本社と神戸営業所にあり、国内外に日本油化工業製品を販売しております。営業部門には船舶機関長・士経験者を配属し、技術的アドバイスや現場の疑問等に対応する技術営業をモットーにして活動しております。また、現場（船舶・各職場）の意見を伺ってお客様の要望を社内の技術部門へフィードバックし、新製品の開発等によってお客様のお手伝いが出来ればと思っております。

弊社は分析センターを有し、燃料油、潤滑油、缶水、冷却水などの分析業務を行っており受付窓口もしております。

分析センターで実施する燃料油、潤滑油、缶水、冷却水その他の分析については豊富なデータと実践経験により、現場から求められるきめ細かい報告をしており皆様の真のニーズに答える事が出来ると確信しております。

### 2.2 技術研究所：

技術研究所には開発技術課と分析センター

の2つの組織があります。技術研究所には電子顕微鏡をはじめとして、ガスクロマトグラフィーや蛍光X線元素分析装置、また日本国内でも数台しかない船用燃料油の着火・燃焼性試験装置であるFIA(Fuel Ignition Analyzer)、FCA(Fuel Combustion Analyzer)など、様々な試験装置を擁し、お客様の多様な要望に応えられる体制を整えています。



FIA-100 (燃料油の着火燃焼性試験装置)

#### (1)開発技術課；

日本油化工業製品を開発しているのが開発技術課です。営業部門からの情報（船舶・各職場）で、「こんな製品が欲しい」、「あんな製品が欲しい」という声を受け、様々な製品を開発しています。

船用分野では、スラッジ分散剤から始まり、防カビ剤、燃焼灰改質剤、煤煙防止剤など、最近では低硫黄軽油・A重油用潤滑性向上燃料油添加剤を開発しております。これからもお客様のニーズに沿ってさまざまな開発を行ってまいります。

自動車分野では、自動車の洗車機用洗剤や、ワックスの研究開発を行っています。会員の皆様がお近くのガソリンスタンドで洗車をするとき、日本油化工業の製品をご使用いただいていると思います。また、自動車ディーラーなどにもワックスを提供しておりますので、あの新車の輝きは日本油化工業のワックスから生まれた物かも知れません。



洗車試験中

#### (2) 分析センター；

燃料油、潤滑油、缶水、冷却水などの分析を行っている組織です。船舶や陸上から送られてきた燃料油や、潤滑油の分析を行い、皆さんの安全運航をサポートしています。すなわち分析結果により現在の運転状態の評価、今後予想されるトラブル、また、トラブル油の対策をこれまでの蓄積したノウハウにより適切なアドバイスを行っております。



試料分析中の分析センタースタッフ

他の分析所と大きく異なるところは、一般的な分析所では分析結果が報告されるだけで、分析結果から予想される事故や、トラブルの原因究明は行っておりません。その点、弊社では、分析結果から予想されるトラブルや、トラブルに対する対処方法を、アドバイスすることが可能です。

また、お客様の要望によりコンサルティング業務も行っております。例えば最近では船舶輸送される自動車に付着した灰・土の分析

依頼があり、見事に土の出所を突き止めた経験があります。

乗船中、または管理船で、お困りのことがありましたら遠慮なくご連絡下さい。

### 3. おわりに

現在、原油価格が高止まり中で燃費の向上が求められています。エンジンの燃焼改善による燃料消費率の低減から、船体汚損を防止することによる燃料消費量の削減など、様々な燃料消費量削減対策が求められています。日本油化工業としても製品などを通して燃料消費量の削減に協力できればと考えています。

また、新聞やテレビで取り上げられている

ように、今や環境問題が世界的なテーマです。環境問題が大きく叫ばれ、また、原油高が進む中、今後燃料油性状は大きく変わって行くものと思われます。もしかしたら、今のような残渣油は使用できなくなる虞があります。また、性状が今までとは全く異なった燃料油が供給されるかも知れません。そのため、燃料油に対する規制や、どのような燃料油が供給されているかをモニターしながら、お客様に必要とされる地球環境を良くする製品を開発していくことが弊社の使命と信じて努力してまいります。

以上

● Videotel社 DVD、CD-ROM、VIDEOのレンタル・販売

● VIDEOTEL ON DEMANDのレンタル

● Videotel Computer-Based Assessment & Training Training Course:

ECDIS / Environmental Officer / ISO 14001

TMSA : Incident Investigation / Safety Officer

● 海事関係BOOKの販売 : IMO / WITHERBY / NAUTICAL INSTITUTE

● DVD、VIDEOの映像制作

● BOOKとパンフレット等の制作・デザイン

Videotel社 日本総代理店



株式会社 エヌ・ティ システムズ

〒104-0041 東京都中央区新富2-1-7 富士中央ビル6F Tel:03-5540-6405 Fax:03-5540-6406

DVD、VIDEO、CD-ROMのレンタル・販売、映像制作  
www.nts.co.jp